

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	28		作成日	平成26年10月3日	
総合計画	章	3	美しいまちづくり	年度	平成25年度事業
	項	1	新たな観光・交流空間の形成	課等名及び係名	まちづくり課地域振興係
	節	1	地域資源を活かした観光の振興	記入者職氏名	係長 皆川 敦史

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事務事業名	屋台に係る文化財等調査事業			
事業概要	対象	大子7町内会の屋台 7台 本町, 金町, 泉町, 愛宕町, 小久慈町, 栄町, 近町		
	目的	4年ごとの伝統祭事「十二所神社春季例大祭（愛宕祭）」に曳く大子7町内会屋台の実態を明らかにすることにより, その保存活用を図り, もって地域活性化に資することを目的とする。		
	実施内容	専門の学識経験者で「調査団」を結成し, 次の調査を行った。 (1) 予備調査（4月中旬） (2) 7町内会の屋台について, 制作年・制作者等の来歴ヒアリング, 写真撮影 (3) 本町・金町・泉町屋台の実測調査 (4) 屋台移動ルートの確認 (5) 各町屋台の所見作成		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	—
	款	2	総務費		事業名 (施策名)	—
	項	1	総務管理費			
	目	11	地域振興費			
	事業名	地域振興費(企画室分)		根拠法令	—	

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績						
23年度実績						
24年度実績						
25年度実績	998					998
26年度当初						

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
25年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	4月27日（土）から5月5日（日）まで実地調査を行った。
------	------------------------------

	<p>なお、文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」を活用し、町予算で実施できなかった次の事業を行った。</p> <p>(1) 十二所神社春季例大祭調査及び報告書の編集 十二所神社春季例大祭の歴史と現況調査の実施、祭祀に関わる屋台等の類例調査の実施と報告書編集及び印刷を行う。</p> <p>(2) 十二所神社氏子町会の屋台（7台）の実測図整理及び製図 金町・泉町・本町屋台の平面図・断面図・立面図の作成 栄町・愛宕町・小久慈・近町屋台の平面図作成</p>
--	--

V 問題点の概要

問題点	すでに町内会会長の世代では、屋台や祭礼の由来について分からなくなっている。今後、80～90代の長老がいなくなると伝承が途絶えることが危惧される。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		年度		年度		年度		対年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
調査屋台数	台	7	7							
指標に表われない効果										

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

Ⅰ 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	調査成果に関しては、「歴史民俗資料館」の設置の際の展示物とすることができる。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	伝承団体の意識を高め、継承者の育成意欲につなげることができた。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	文化庁の補助事業との併用により、調査コストを圧縮できた。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	<input type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 公平でない	調査対象が大字7町内会の屋台にとどまっている。

Ⅱ 総合評価

今後の方向性	3								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。</p> <p>次世代への継承において危機的状況にある民俗風習について、文化財的価値を明らかにすることで、伝承団体の意識を高め、継承者の育成意欲につなげることができる。</p> <p>大字町の屋台・山車保有台数は50台程度で、県下一であろうといわれているが、実態は明らかではない。本調査に引き続き、教育委員会において、町内全域に残る屋台・山車の実態を把握することが望まれる。</p>									
<p>【所属長意見】</p> <p>今回の屋台調査については、中心市街地活性化のための文化財調査のために行い、文化庁の事業も活用し、充実した成果が得られた。今後の屋台調査については、大字町全体の文化資源の継承のためにも、文化財を担当する生涯学習課で取り組んでいただきたい。</p>									

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	3								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【具体的内容】</p> <p style="text-align: center;">町内全域の屋台・山車について、教育委員会において引き続き実態調査に取り組むこと。</p>									
<p>【備考】</p>									